



山田和樹の新境地

KAZUKI YAMADA

生誕100周年・没後20周年

柴田南雄：
コンソート・オブ・オーケストラ

SHIBATA Minao: Consort of Orchestra

人生の黄昏を謳った傑作

R.シュトラウス：
4つの最後の歌 AV150

Richard STRAUSS: 4 Letzte Lieder AV150

日本フィルが日本初演！（1980年6月）

エルガー：
交響曲第1番 変イ長調 op.55

Edward ELGER: Symphony No.1 in A-Flat major, op.55

指揮：山田 和樹 [正指揮者]

Conductor: YAMADA Kazuki, Permanent Conductor
©山口敦

メゾソプラノ：清水 華澄

Mezzosoprano: SHIMIZU Kasumi



「本日の聴きどころ」は
(プレトーク)
マエストロの登場です！

[金] 18:30 ~

[土] 13:10 ~

■ 料金 (消費税込み)

2016年6月29日(水)発売

■ お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター

S ¥7,200 A ¥6,000 B ¥5,200
C 完売 P ¥3,200 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00~17:00) [FAX] 03-5378-6161 (24時間)
日本フィルeチケット♪ www.japanphil.or.jp (席を選んでお申込みできます)

▶ チケットぴあ ... (0570) 02-9999 <http://pia.jp/t/japanphil> Pコード/302163
▶ e+【イープラス】 ... <http://eplus.jp>
▶ ローソンチケット ... (0570) 000-407 (オペレーター) <http://l-tike.com> Lコード/36796
▶ サントリーホールチケットセンター ... 0570-55-0017

託児サービス
(事前申込制・有料)

イベント託児®
マザーズ
TEL 0120-788-222
(平日10:00 - 17:00)

山田和樹の新境地 エルガーと没後20周年の柴田南雄、 人生の黄昏を謳ったR.シュトラウスの傑作《4つの最後の歌》

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
683rd
SUBSCRIPTION
CONCERTS

温故知新を身上・使命とする我らが正指揮者山田和樹。今回は日本フィルが1980年6月に日本初演した(指揮:ジェームズ・ロッホラン)エルガーの交響曲第1番をメインに据えます。R.シュトラウスと併せて、ロマン派音楽の集大成ともいえる20世紀の傑作をお贈りいたします。また冒頭には、山田自身が賞賛を惜しまない日本を代表する作曲家であり2016年に生誕100周年・没後20周年を迎える柴田南雄の作品《コンソート・オブ・オーケストラ》を取り上げます。音楽学者としてのメタな視点でクラシック音楽を分析し、実践に生かしたこの真摯かつユニークな作曲家の姿をご紹介します。

いずれも20世紀の作品ながら、全く異なる語法を持つそれぞれの作品を、山田和樹と日本フィルがどのように表現するのか、ご注目頂きたいと思います。幅広いレパートリーを持つ山田の棒さばきはもちろんのこと、近年とみにその表現力と技術力向上が評価されている日本フィルの「今」をご体感ください。また清水華澄という今最も輝いている日本を代表する歌手の至芸を、人生の黄昏を謳い上げた「4つの最後の歌」という究極の作品でお聴き頂き、その実力をぜひご堪能ください。

東京定期土曜限定プレトーク 「本日の聴きどころ」

指揮者
山田和樹の登場です!

金	18:20	開場
	18:30	プレトーク開始
	18:45	プレトーク終了 (ご自席でお聞きください)
土	13:00	開場
	13:10	プレトーク開始
	13:25	プレトーク終了 (1階席1列~14列でお聞きください)

山田 和樹

正指揮者

YAMADA Kazuki

1979年神奈川県生まれ。東京藝術大学指揮科で小林研一郎・松尾葉子の両氏に師事。第51回ブザンソン国際指揮者コンクール(2009年)で優勝後、BBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、代役でバリ管弦楽団を指揮、すぐに再演が決定する。2012年8月には、小澤征爾の指名代役としてサイトウ・キネン・フェスティバル松本で指揮し、絶賛された。日本国内主要オーケストラ、ヨーロッパを中心に世界の主要オーケストラでの客演を重ねている。

日本フィルとはBunkamuraで行われている3年間全9回に渡る『山田和樹 マーラー・ツィクルス』が話題となっている。

2010年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2011年、出光音楽賞受賞。2012年、渡邊曉雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞受賞。

現在、スイス・ロマンロ管首席客演指揮者、モンテカルロ・フィル首席客演指揮者(2016年9月から芸術監督兼音楽監督)、日本フィル正指揮者、横浜シンフォニエッタ音楽監督、仙台フィルミュージック・パートナー、オーケストラ・アンサンブル金沢ミュージック・パートナー、東京混声合唱団音楽監督兼理事長。

著書に『山田和樹とオーケストラのとびらをひらく』(アリス館)。音楽の友に『私的音楽論考』、共同通信社に『世界を翔るタクト』連載中。ベルリン在住。



©山田和樹

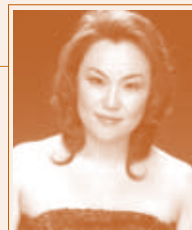
清水 華澄

メゾソプラノ

SHIMIZU Kasumi

国立音楽大学声楽科卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第4期生修了。文化庁在外派遣研修員、ローム・ミュージック・ファンデーション在外研究生としてイタリアへ留学。留学中にオーストリア・バーデン市立劇場《こうもり》オルロフスキーに出演、同市100周年記念公演でも同役を再び出演。

国内でも新国立劇場鑑賞教室《カルメン》タイトルロール、《チェネレントラ》ティーズベ、《オテロ》エミーリア、《アンドレア・シェニエ》ベルシ、新国立劇場・国家大劇院(中国・北京)日中国交正常化50周年記念《アイーダ》(演奏会形式)アムネリス、びわ湖ホール・神奈川県民ホール《アイーダ》アムネリス、二期会創立60周年記念《ナブッコ》フェネーナ、東京二期会《ヴァレリア・ルスティカーナ》サントウツツア、《ドン・カルロ》エボリ公女、日生劇場開場50周年記念《メデア》ゴラ、日生劇場《アイナダマール》(日本初演)ロルカ等、数多くの公演で絶賛を浴びた。NHKニューイヤーオペラコンサートにも2012年に初登場して存在感を示し、以後2013年、2016年にも出演。ベートーヴェン「第九」、マーラー「復活」等のソリストとしても実績を積み重ねており、その圧倒的な歌唱力と繊細な演奏で魅了し、注目を集めている。二期会会員。



次回

第684回東京定期演奏会

2016 10.21(金) 18:20 開場/19:00 開演 22(土) 13:30 開場/14:00 開演 サントリーホール

プログラム

ハイドン:交響曲第43番 変ホ長調《マーキュリー》
ベートーヴェン:交響曲第4番 変ロ長調 op.60
シューベルト:交響曲第4番 ハ短調 D.417《悲劇的》

料金(消費税込み) 2016年6月29日(水)発売

S ¥7,200 A ¥6,000 B ¥5,200 C 完売 P ¥3,200 Ys(25歳以下) ¥1,500



©K.Miura

指揮:鈴木秀美